

春の珍事 (1949)

IT HAPPENS EVERY SPRING

メディア 映画

ジャンル コメディ スポーツ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1950/04/11

公開情報 セントラル

【解説】

野球映画の珍品で、R・ミランドの化学教授が偶然に木に反発する薬を発見して、これをボールに塗ることで一躍名投手になり、からくりを知らぬ大リーグ・チームにスカウトされ、魔球を放るーと大評判になる。捕手役はいかにもごついP・ダグラスで、彼がその薬をヘアトニックと間違え、時々失敬していたことからおかしな騒動が起こる。ミラクルの力を借りた野球ものは数多いが、ここまで安直なものも珍しく、かえってすがすがしい。バットをボールが避けていく特撮が、今にすればチープで、とても笑える。監督はそもそもコメディアン出身で、ミュージカル・コメディに大いに腕を揮ったL・ベーコン。

【クレジット】

監督	ロイド・ベーコン	Lloyd Bacon
製作	ウィリアム・パールバーグ	William Perlberg
原作	シャーリー・W・スミス	
	ヴァレンタイン・デイヴィス	Valentine Davies
脚本	ヴァレンタイン・デイヴィス	Valentine Davies
撮影	ジョー・マクドナルド	Joe MacDonald
音楽	リー・ハーライン	Leigh Harline
出演	レイ・ミランド	Ray Milland
	ジーン・ピーターズ	Jean Peters
	ポール・ダグラス	Paul Douglas
	エド・ベグリー	Ed Begley
	テッド・デ・コルシア	Ted De Corsia
	レイ・コリンズ	Ray Collins
	ジェシー・ロイス・ランドイス	Jessie Royce Landis
	アラン・ヘイル・J r	Alan Hale Jr.
	ジーン・エヴァンス	Gene Evans